

1 治安情勢

2015年中の検察庁犯罪統計の結果、総被害認知件数は前年比1.2パーセント減少したものの、罪種別で見ると、強盗事件が同比6.82パーセント増加しています。また、発生場所としても、サンティアゴ東部の住居に対する窃盗事件が前年比5.2パーセント増加しています。特にビタクラ区やラス・コンデス区の邦人が主に居住する地区の強盗や空き巣被害が目立つようになりました。

アディマーク社による国民に対するアンケート結果では、サンティアゴ市内の38.9%の家庭が盗難被害に遭った、若しくは同未遂被害に遭ったと回答しており、昨年の45%より減少しました。また、上記総被害認知件数の減少と併せて考慮すると治安は改善されているかのように思われますが、邦人被害では背中などに鳥の糞のような液体を掛けられ、それを拭いている隙に荷物を盗まれる事案の増加や置き引き被害も後を絶たず、昨年報告された邦人被害件数も増加していることから治安が好転しているとは言えない状況にあります。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 1月2日(土)午前0時30分頃、サンティアゴ市ラ・システルナ区において家人が車で帰宅したところ、門の前で6人組の銃を所持した強盗に脅され車両を奪われた(ポルトナソ)。被害者はすぐに隣人の車を借りて追跡し、車を発見して警察に通報した。到着した警察により17歳の犯人一人を逮捕した。

また、同日サン・ホアキン区においても銃を所持した3人組によるポルトナソが発生した。

(2) 1月3日(日)、サンティアゴ市プロビデンシア区を警察がパトロール中、ラス・コンデス区で盗難に遭った車両を発見し4人を逮捕した。逮捕者のうち1名は16歳で、2名は4日前に出所したばかりであった。

(3) 1月4日(月)午後8時頃、サンティアゴ市ロ・バルネチエラ区において3人組の覆面をした強盗が家屋に侵入し、家人を縛り上げクローゼット内に閉じ込め、貴金属、携帯電話を奪い、家人の車を奪って逃走した。

(4) 1月7日(木)午後5時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の家屋に4人組の銃を所持した強盗が侵入し、在宅していたメイドを脅迫し、貴金属、現金を奪い逃走した。

(5) 1月8日(金)未明、サンティアゴ市インデペンデンシア区のガソリンスタンドに10数名の強盗が押し入り、店員、警備員を脅し、店内のATM機を破壊して約20,000,000ペソを奪い逃走した。

(6) 1月13日(水)深夜、サンティアゴ市カレラ・デ・タンゴ区の区長宅

に強盗が押し入り、在宅中の区長を殴るなどし、家電、現金700,000ペソ、銃4挺を奪ったうえ、車を盗んで逃走した。

(7) 1月17日(日)午後10時15分頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区のデパルタメント4階の女性宅に強盗がよじ登って侵入し、女性を銃で脅して現金、貴金属を奪って逃走した。

(8) 1月19日(火)夜、サンティアゴ市プエンテ・アルト区において、父母宅を訪れていた夫婦が帰宅しようと車で家を出たところで、2台の車に分乗した8人組の銃やナイフを所持した強盗に襲われた。車には2歳の女兒が乗車していたことから夫婦は強く抵抗したが、殴られ、また殺すと脅されて車を奪われた。女兒は3ブロック先の道路に放置されていた。

(9) 2月3日(水)午後11時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在するモール内の銀行のATM機をガスを充満させて爆発し、現金を奪おうとしたが失敗し、マキビシをまいて盗難車で逃走した。

(10) 2月22日(月)午前10時45分頃、サンティアゴ市サン・ホアンキン区の銀行に5人組の銃を所持した強盗が押し入り、警備員を脅して銃を奪い、行員を脅して金庫を開けさせようとしたが、非常通報になったため窓口から現金5,000,000ペソと銀行内にいた客から10,000,000ペソを奪い逃走した。

(11) 3月16日(水)午後4時頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区の宝石店に3人組の強盗が押し入り、店員を殴るなどして貴金属約50,000,000ペソ相当を奪い逃走した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2月11日(木)午前8時頃、サンティアゴ南部拘置所社会復帰訓練所の入口に袋に入った時限式消火器爆弾が発見され、特殊部隊により処理された。

(2) 2月16日(火)、サンティアゴ市フロリダ区において2人組の男がバスの後部座席に時限式発火装置を仕掛けて放火した。

4 薬物事案

1月8日(金)、刑事警察庁(PDI)は、2015年中に押収された覚醒剤は2014年と比較して倍増し、76,150件に及ぶと発表した。押収した覚醒剤の殆どは空便によりチリ国内に持ち込まれたものであるとしている。

5 主な邦人被害

(1) 1月12日(火)午後1時頃、邦人男性がサンティアゴ市ラス・コンデ

ス区に所在するカフェで食事中、足下に置いておいたカバンを盗難に遭った。

(2) 1月19日(火)昼頃、邦人男性旅行者がイースター島のお土産屋を見て回っていたところ、買い物をしようとしたときにズボンの後ろポケットに入れておいた財布がなくなっていることに気付いた。土産屋のどこかの店でスリ盗られたとみられる。

(3) 1月22日(金)午後7時10分頃、邦人男性が首都圏地下鉄1号線車内においてトバラバ駅で寿司詰め状態になったため、降りやすいように入出口の中央付近に立っていたところ、背後から肩をたたかれたため振り向くと中年女性(チリ人)に話しかけられた。その後、右ポケットに入れておいた財布がないことに気が付いた。

(4) 1月24日(日)午前7時1分頃、邦人女性旅行者がイキケ市内において見知らぬ男からケチャップのような液体がついていると声をかけられ、気を取られている隙にパスポートや現金等貴重品全てが入ったカバンを置き引きに遭った。

(5) 1月26日(火)、邦人男性出張者がチロエ島のレストランで夕食中、椅子にかけておいたバッグの中から現金、キャッシュカード在中のパスポート入れを抜き盗られた。

(6) 2月4日(木)午後10時30分頃、サンティアゴ市の邦人戸建住宅に全員目出し帽を被った5人組の強盗が押し入り、邦人家族を縛り上げ、拳銃や刃物を使用して脅迫して金庫を開けさせるなど約50分間に渡り拘束して貴金属類を盗み、更に乗用車を盗んで逃走した。

(7) 2月4日(木)昼頃、邦人女性が家族4人でテムコ市のレストランで昼食中、椅子に掛けておいた財布等在中のハンドバッグを盗難に遭った。

(8) 2月19日(金)午前7時頃、邦人男性旅行者がサンティアゴ市センターのバスターミナルにおいて、液体を掛けられたことからパスポート等在中のカバンを下に置いて拭いていたところ、置き引きの被害に遭った。

(9) 2月21日(日)昼頃、邦人男性旅行者がサンティアゴ市センターのバスターミナルにおいて、ATM機で現金を引き出した後、同デビットカードが出てこなかったことから慌てている際に現金、iPad 在中のカバンを置き引きに遭った。

(10) 2月22日(月)午後5時頃、邦人男性旅行者がサンペドロ・デ・アタカマからサンティアゴに向かうバス車内において、パスポート等在中のカバンを盗難に遭った。

(11) 2月25日(木)午後11時50分頃、邦人出張者が一人でレストランからサンティアゴ市ビタクラ区のホテルに徒歩にて戻る途中、近づいてきた白い車から降りてきた覆面4人組に前方に倒され、ナップザックに入れていたノ

ートパソコンと腕時計を奪われた。

(12) 3月4日(金)午後3時頃、邦人男性旅行者がアタカマからサンティアゴまでのバスの中で就寝中、隣の座席の上に置いておいたカバンを盗難に遭った。

(13) 3月5日(土)午後6時頃、邦人女性旅行者が首都圏地下鉄サンタアナ駅付近の路上において「服が汚れている」と声を掛けられ気を取られている間に、パスポート、財布等在中のバックパックを盗られた。

(14) 3月8日(火)午後6時頃、邦人女性旅行者が満員の首都圏地下鉄2号線車内において、リュックサックのファスナーを開けられ、中に入れておいた携帯電話とパスポートをスリ盗られた。

(15) 3月18日(金)午後5時頃、邦人男性旅行者がサンティアゴからサンペドロ・デ・アタカマ行きの長距離バス内で、バスの上棚にバッグを置き食事を取っていた5～10分の間にバッグを盗られた。

(16) 3月25日(金)午後2時頃、邦人男性旅行者がアントファガスタのバスターミナルにおいて外国人2人に話しかけられた隙に、下に置いておいたバッグを盗られた。

(17) 3月30日(水)午後6時30分頃、邦人男性がサンティアゴ市セントロのアラメダ通りを歩いていたところ、黒っぽい液体が背中にかかってきた。すぐに女性が話しかけてきて、自らティッシュにペットボトルの水を染みこませて拭いてあげるから丘の斜面のところまで来るように誘導された。肩にたすき掛けに持っていたカバンからティッシュを取り出して拭いてもらえるか頼んだところ、女性は立ち去った。その後その様子を見ていた女性から泥棒に液体を掛けられて盗まれるところだったと教えられ、泥棒は他に男性と子供がいたとのことであった。